(4) Delivery period : By 25 Nov. 2011
(5) Delivery place : Nakayama, Kyoto Racecourse.
(6) Qualifications for participating in the tendering procedures : A—D
(7) Time limit of tender : By 10 : 30 a.m. 30 Jun. 2011.
(8) Contact details for tender documents : Facilities Contract Section, Facilities Dept., JRA Roppongi Office ; 6—11—1 Roppongi Minato-ku, Tokyo Japan TEL 03—3591—5251

招　　請

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

平成23年5月19日

独立行政法人国立高等専門学校機構
契約担当役　事務局長　後藤　宏平

◎調達機関番号　593　◎所在地番号　13

○第１号

１　調達内容

(1) 品目分類番号　15、28
(2) 導入計画物品及び数量　高専統一認証基盤及びファイアウォール　一式
(3) 調達方法　借入
(4) 導入予定時期　平成23年度３月以降
(5) 調達に必要とされる基本的な要求要件

１）認証基盤

①　高専共通用認証サーバ

(a) 高専共通システムのアプリケーション等のユーザ認証が出来ること。
・ＬＤＡＰｖ２およびｖ３のプロトコルに対応すること。
・ＬＤＡＰ　ｏｖｅｒ　ＳＳＬに対応し、任意の証明書が使用できること。
・任意のＬＤＡＰスキーマの拡張が可能なこと。

(b) 高専共通のネットワークシステム等の認証が出来ること。
・ＲＡＤＩＵＳプロトコルに対応していること。
・ＲＡＤＩＵＳ認証において、ＰＡＰ／ＣＨＡＰによるユーザ認証が可能であること。
・ＲＡＤＩＵＳ認証において、ＭＡＣアドレスによる端末認証が可能であること。
・ＩＥＥＥ802.1Ｘ認証に対応していること。
・ベンダ固有属性を登録して利用できること。

(c) 全ての設定や管理が、ＨＴＴＰＳを用いたWebブラウザより操作可能で、日本語化されていること。
(d) 日本語マニュアルが提供されること。
(e) 操作履歴を含むログの保存機能を有すること。
(f) データの保護やシステムの冗長化が行われていること。
(g) 10,000個以上のアカウントが利用できること。
(h) ＣＳＶやＬＤＩＦによるアカウント情報の管理が出来ること。
(i) 各キャンパスおよび本部事務局からのアカウント情報の同期が可能なこと。
(j) 停電時の対応が可能なこと。

②　各キャンパス用認証サーバ（55キャンパス）

(a) キャンパス独自システムのアプリケーション等のユーザ認証が出来ること。
・ＬＤＡＰｖ２およびｖ３のプロトコルに対応すること。
・ＬＤＡＰ　ｏｖｅｒ　ＳＳＬに対応し、任意に証明書が使用できること。
・任意のＬＤＡＰスキーマの拡張が可能なこと。
・ＰＯＳＩＸ認証に対応していること。

(b) 各キャンパスのネットワークシステム等の認証が出来ること。
・ＲＡＤＩＵＳプロトコルに対応していること。
・ＲＡＤＩＵＳ認証において、ＰＡＰ／ＣＨＡＰによるユーザ認証が可能であること。
・ＲＡＤＩＵＳ認証において、ＭＡＣアドレスによる端末認証が可能であること。
・ＩＥＥＥ802.1Ｘ認証に対応していること。
・ベンダ固有属性を登録して利用できること。

(c) 他のActiveDirectoryやＬＤＡＰサーバへ指定したユーザの指定した属性の同期が可能なこと。
(d) 全ての設定や管理が、ＨＴＴＰＳを用いたWebブラウザより操作可能で、日本語化されていること。
(e) 日本語マニュアルが提供されること。
(f) 操作履歴を含むログの保存機能を有すること。
(g) データの保護やシステムの冗長化が行われていること。
(h) 2,000個以上のアカウントが利用できること。
(i) ＣＳＶやＬＤＩＦによるアカウント情報の管理が出来ること。
(j) Shibboleth IdPの機能を有すること。
(k) 国立情報学研究所の学術認証フェデレーションで利用されるShibboleth IdPに参加できる機能・属性等を有すること。
(l) 高専共通用認証サーバへの指定ユーザのアカウント情報の同期が可能なこと。
(m) 停電時の対応が可能なこと。

③　本部事務局用認証サーバ

(a) 本部事務局独自システムのアプリケーション等のユーザ認証が出来ること。
・ＬＤＡＰｖ２およびｖ３のプロトコルに対応すること。
・ＬＤＡＰ　ｏｖｅｒ　ＳＳＬに対応し、任意の証明書が使用できること。
・任意のＬＤＡＰスキーマの拡張が可能なこと。
・ＰＯＳＩＸ認証に対応していること。

(b) 本部事務局のネットワークシステム等の認証が出来ること。
・ＲＡＤＩＵＳプロトコルに対応していること。
・ＲＡＤＩＵＳ認証において、ＰＡＰ／ＣＨＡＰによるユーザ認証が可能であること。
・ＲＡＤＩＵＳ認証において、ＭＡＣアドレスによる端末認証が可能であること。
・ＩＥＥＥ802.1Ｘ認証に対応していること。
・ベンダ固有属性を登録して利用できること。

(c) 他のActiveDirectoryやＬＤＡＰサーバへ指定したユーザの指定した属性の同期が可能なこと。
(d) 全ての設定や管理が、ＨＴＴＰＳを用いたWebブラウザより操作可能で、日本語化されていること。
(e) 日本語マニュアルが提供されること。
(f) 操作履歴を含むログの保存機能を有すること。
(g) データの保護やシステムの冗長化が行われていること。
(h) 200個以上のアカウントが利用できること。
(i) ＣＳＶやＬＤＩＦによるアカウント情報の管理が出来ること。
(j) Shibboleth IdPの機能を有すること。
(k) 国立情報学研究所の学術認証フェデレーションで利用されるShibboleth IdPに参加できる機能・属性等を有すること。
(l) 高専共通用認証サーバへの指定ユーザのアカウント情報の同期が可能なこと。
(m) 停電時の対応が可能なこと。

④　高専共通用認証サーバと各キャンパス用認証サーバ及び本部事務局用認証サーバの同期

(a) 各キャンパス用認証サーバ及び本部事務局用認証サーバで管理されている指定されたユーザ（教職員等）の指定されたアカウント情報を、高専共通用認証サーバに同期可能なこと。
(b) 高専共通用認証サーバ内でユーザＩＤの重複を回避し、ユーザＩＤの唯一性が保証されること。